

令和6(2024)年度 十勝農試定期作況報告 てんさい

月	作況	事由
5月20日	やや良	移植期は4月23日で平年より5日早く、移植後すぐに降雨があったことから、活着は順調であった。移植期が早く、4月下旬および5月中旬の気温が高かったことから、草丈および生葉数は平年と比べてやや大きい。以上のことから、現在の作況はやや良である。
6月20日	平年並	気温は、5月下旬から6月上旬が低く、6月中旬がかなり高かった。平年と比べて草丈および生葉数は同程度であり、生育は順調である。以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	やや不良	6月下旬から7月中旬までの気温は高く、日照時間はかなり多かったが、降水量は少ない。平年に比べて草丈はやや短く、生葉数は少ない。干ばつの影響により、根部の肥大は停滞しており、根重は平年比84%とやや軽い。以上のことから、現在の作況はやや不良である。
8月20日	やや不良	7月下旬から8月中旬までの気温は高いが、曇天の日が多く日照時間はかなり少ない。7月下旬にまとまった雨が合ったことから、根部の肥大は回復し根重は平年比99%と平年並である。7月中旬までの干ばつの影響から、平年に比べて草丈は短く、生葉数はやや少ない。以上のことから、現在の作況はやや不良である。
9月20日	平年並	平年に比べて草丈は短いものの、生葉数は同程度で、根重は平年比102%と同程度である。以上のことから、現在の作況は平年並である。
10月20日	不良	収穫は平年より1日早い10月15日に行った。褐斑病が9月以降徐々に発生し、収穫時に“中”程度の被害であった。根重は平年比100%であった。生育途中の干ばつと褐斑病の影響により、根中糖分は平年より1.95ポイント低い、平年比88%であり、糖量は同比88%であった。以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	不良	移植期は4月23日で平年より5日早く、移植後すぐに降雨があったことから、活着は順調であった。6月中旬から8月中旬まで気温は平年より常に高く推移した。生育期間の日照時間は平年並で、降水量は少なく、7月上旬頃に干ばつの影響を受けた。収穫は平年より1日早い10月15日に行った。褐斑病が9月以降徐々に発生し、収穫時に“中”程度の被害であった。根重は平年比100%であった。生育途中の干ばつと褐斑病の影響により、根中糖分は平年より1.95ポイント低い、平年比88%であり、糖量は同比88%であった。以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

品種名		リッカ		
項目/年次		本年	平年	比較
播種期(月日)		3.13	3.16	△ 3
発芽期(月日)		3.24	3.24	0
移植期(月日)		4.23	4.28	△ 5
収穫期(月日)		10.15	10.16	△ 1
草丈 (cm)	5月20日	9.6	7.6	2.0
	6月20日	40.7	40.6	0.1
	7月20日	55.9	67.5	△ 11.6
	8月20日	53.2	71.7	△ 18.5
	9月20日	54.0	68.5	△ 14.5
生葉数 (枚)	5月20日	8.5	5.8	2.7
	6月20日	14.7	15.1	△ 0.4
	7月20日	17.7	23.8	△ 6.1
	8月20日	24.3	26.3	△ 2.0
	9月20日	27.0	28.3	△ 1.3
根重 (kg/10a)	7月20日	2,332	2,763	△ 431
	8月20日	5,742	5,785	△ 43
	9月20日	7,773	7,652	121
根重(kg/10a)		7,845	7,818	27
根中糖分(%)		14.33	16.28	△ 1.95
糖量(kg/10a)		1,123	1,273	△ 150
平年比(%)	根重	100	100	0
	根中糖分	88	100	△ 12
	糖量	88	100	△ 12

備考1) 平年値は前7か年中、令和3年(豊作年)および令和5年(凶作年)を除く5か年平均。

2) △は平年より早、少、短、軽、低を表す。

3) 本年より収穫時の茎葉重ならびにT/R比の調査を行わない。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅	株間	株数	移植期
			(cm)	(cm)	(株/10a)	(月日)
42.8	3	緑肥 えん麦	60	23.8	7,003	4.23
施肥量(kg/10a)						
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	B ₂ O ₅	堆肥	その他
15.0	21.3	13.8	5.0	0.38	3,000	なし